


貯 法：室温保存
有効期間：3年

う蝕予防フッ化物洗口剤

フッ化ナトリウム洗口液 0.1% 「ビーブランド」

Sodium Fluoride Rinse 0.1% [BEEBRAND]

日本標準商品分類番号	87279
承認番号	22300AMX01245000
販売開始	2012年2月
薬価収載	薬価基準未収載

3. 組成・性状	14. 適用上の注意
3.1 組成	14.1 薬剤投与時の注意
販売名 フッ化ナトリウム洗口液0.1%「ビーブランド」	14.1.1 容器及び使用する器具は必ずプラスチック製を使用すること。ガラス製品はフッ化物によって腐蝕する。
有効成分 100mL中 フッ化ナトリウム 0.10g含有	14.1.2 希釈して使用する場合は、その都度希釈し、作り置きしないこと。
添加剤 リン酸、セチルピリジニウム塩化物水和物、パラオキシ安息香酸プロピル、パラオキシ安息香酸エチル、プロピレングリコール、トメントール、サッカリンナトリウム水和物、青色1号、香料、エタノール	14.2 薬剤交付時の注意
3.2 製剤の性状	14.2.1 使用に際しては間違いなく洗口が出来ることを確認してから使用させること。洗口ができない場合には、水で洗口を練習させること。飲み込むおそれのある幼・小児には使用しないこと。
販売名 フッ化ナトリウム洗口液0.1%「ビーブランド」	14.2.2 飲み込まないようによく指導すること。
性状 本品は淡青色澄明の液で、芳香と甘味がある。	14.2.3 指定した使用量を守るよう指導すること。
4. 効能又は効果	14.2.4 使用方法(洗口液の作り方、洗口方法)については十分に保護者に対して説明し、家庭での幼・小児の洗口は保護者の監督下で行わせること。
齲蝕の予防	14.2.5 洗口の方法
6. 用法及び用量	(1)1回量5～10mLを口に含み、約30秒間洗口液が十分に歯面にゆきわたるように、口を閉じ頬を動かす「ブクブクうがい」を行う。(洗口図参照)
通常、1回フッ化ナトリウムとして0.05～0.1%溶液5～10mLを用い、1日1回食後または就寝前に次の方法により洗口する。	(2)洗口は、嚥下を避ける目的で、下を向いて行う。(洗口図参照)
〈洗口方法〉	
薬液を口に含み、約30秒間薬液が十分に歯面にゆきわたるように含み洗いさせる。次に薬液を十分に吐き出させる。	14.2.6 洗口時の注意
1回に口に含む液量は、年齢等による口腔の大きさを考慮して定めるが、通常未就学児で5mL、学童以上で7～10mLが適当である。	(1)洗口の前後には、歯をみがくか、水で口をすすぐこと。
8. 重要な基本的注意	(2)洗口液1回の量は一度で口に含むこととし、口に含めなかった洗口液は捨てること。
歯科医師の指導により使用すること。	(3)洗口後の洗口液は十分に吐き出すこと。
9. 特定の背景を有する患者に関する注意	(4)洗口後30分間はうがいや飲食物をとらないようにすること。
9.5 妊婦	14.2.7 使用後は密栓し、幼・小児の手の届かない所に保管すること。
妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ使用すること。	22. 包装
9.6 授乳婦	250mL
治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。	23. 主要文献
11. 副作用	1)日本口腔衛生学会フッ化物応用委員会編：フッ化物応用の科学第2版.2018：31-39
次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止するなど適切な処置を行うこと。	GS1 コード
11.2 その他の副作用	調剤包装単位コード  (01)04987463192809
頻度不明	
過敏症 過敏症状	
13. 過量投与	
13.1 急性中毒	
誤って飲用し、嘔吐、腹痛、下痢などの急性中毒症状を起こした場合には、牛乳、グルコン酸カルシウムなどのカルシウム剤を応急的に服用させ、医師の診療を受けさせること。	
13.2 慢性中毒	
歯の形成期～萌出期にあたる6歳未満の小児が繰り返し誤飲した場合、フッ化物の過量摂取による斑状歯が発現する可能性がある。	

●その他、詳細は製品電子添文をご参照ください。 ●製品電子添文の改訂に十分ご留意ください。2023年12月改訂(第1版)の注意事項等情報に基づき作成

■製造販売元・資料請求先



(株)ビーブランド・メディコーデンタル

本社：大阪市東淀川区西淡路5-20-19 | 東京営業所：東京都千代田区神田錦町1-14
TEL:06-6370-4182 FAX:06-6370-4184 | TEL:03-3295-6926 FAX:03-3295-6927

<https://bee.co.jp/>

■お取引先材料店

1D012A302 2024年1月作成

歯科医院用

医療用医薬品

フッ化物洗口剤

BEE BRAND

フッ化ナトリウム洗口液0.1% 「ビーブランド」

Fluoride Mouthrinse

医療用医薬品 **250mL**

Fluoride Mouthrinse for preventing dental caries
Sodium Fluoride 0.1w/v%



幼小児から高齢者までの
う蝕予防にフッ化物洗口をおすすめします。

 BEE BRAND
MEDICO DENTAL

特長

BEE BRAND

毎日法にお使いいただける洗口液。

溶かす手間がなく、
継続しやすい液体タイプ。

計量カップ付なので、患者様の
状態に合わせた希釈が可能。

薄いブルーの薬液で、
さわやかなリンゴ味を採用。

250mL	
組成	フッ化物イオン濃度(使用時)
100mL中 フッ化ナトリウム0.10g	225~450ppm

直射日光を避け、
室温(1~30℃)で
保管してください。

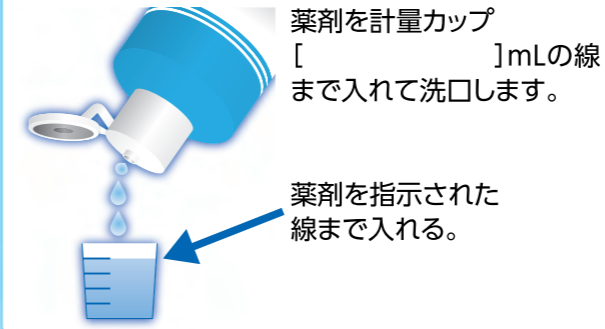


フッ化物
イオン濃度
[450ppmF]
※包装単位は
(250ml×1本)
となります。

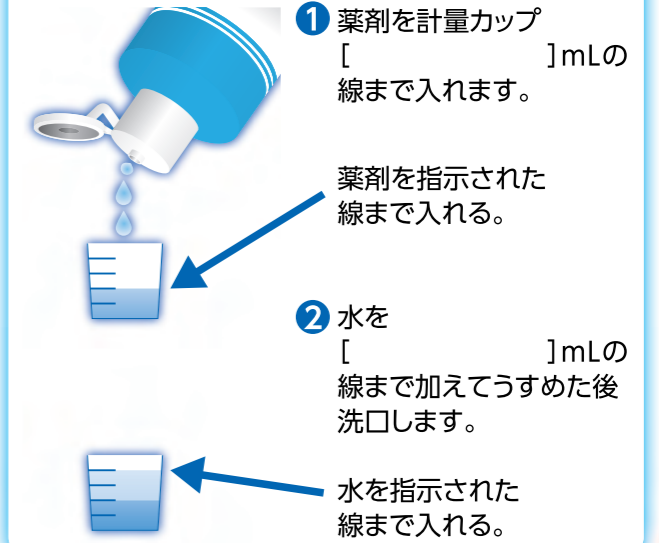
洗口液の作り方 — 歯科医師のみなさまへ —

安全にお使いいただくため、患者様の洗口
に合わせた計量・希釈方法をお示ください。

■原液を5~10mL使用する場合



■うすめた液を5~10mL使用する場合



保管上の注意

- ① 小児の手の届かないところに保管してください。
- ② 直射日光を避け、室温(1℃~30℃)で保管してください。
- ③ 歯科医師の指示により使用してください。

洗口方法

- ① 歯科医師の指導に従って洗口液を準備してください。
- ② 洗口前に、歯を磨くか水で口をすすいでください。
- ③ 準備した洗口液を口に含み、約30秒間液が歯面に行き渡るように、ブクブクと洗口してください。
- ④ 誤って飲み込まないように、下向き加減で洗口してください。
- ⑤ 洗口後の液は十分に吐き出してください。口は水ですすがず、1~2回溜まった唾液を吐き出してください。
- ⑥ 1日1回食後または就寝前に行ってください。

洗口時の注意

●小児の洗口は、保護者等の方が見てあげてください。●洗口液は、1回で口に含まないようにし、カップに残った液は捨ててください。●誤って飲用し、嘔吐、腹痛、下痢などの症状を起こした場合は牛乳やカルシウム剤を応急的に飲ませ、医師の診断を受けてください。



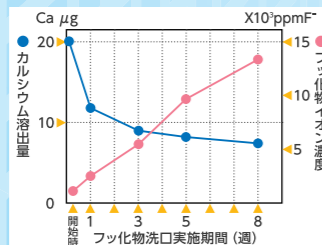
フッ化物洗口による、う蝕予防のしくみと効果

歯に対して

フルオロapatiteの
生成・再石灰化の促進

歯質の強化(耐酸性増強)

エナメル質中のフッ素量の増加に
ともないカルシウムの溶出は抑制され、
エナメル質の酸抵抗性は高くなります。



(上図) フッ化物洗口法によるエナメル質
表層のフッ化物イオン濃度の増加と
カルシウム溶出量(酸抵抗性)の関係
※参考文献1

口腔内環境に対して

細菌・酵素作用の抑制

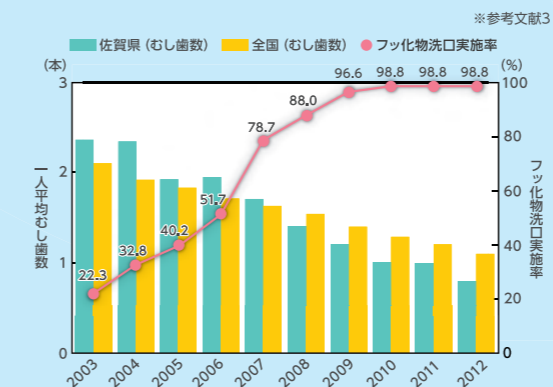
酵素を阻害するフッ化物イオン濃度は
約30ppm以上と言われています。
※参考文献2

酸産生の抑制

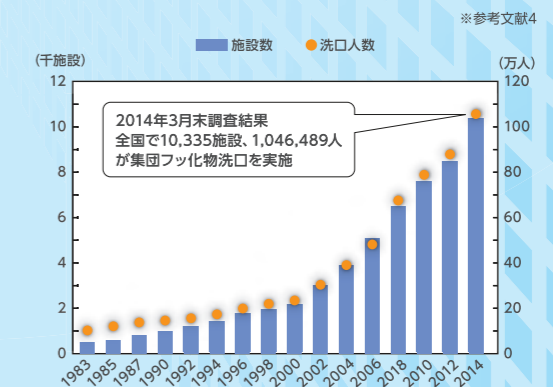
フッ素のはたらき

- ① 初期う蝕(白斑)の状態にフッ化物イオンがあると、再石灰化が促進され、もとの歯より酸抵抗性が高くなります。
- ② フッ化物イオンは歯垢に貯留され歯垢のpHが低下すると、徐々に放出され再石灰化を促進します。

佐賀県12歳児のむし歯数とフッ化物洗口実施状況



集団応用フッ化物洗口実施の推移(1983-2014)



(参考文献)

- 1.「フッ素含有洗口液によるう蝕予防法の基礎的研究II フッ素取込量と耐酸性について」— 可児端夫他、口腔衛生学会雑誌、1980;30(2): 98-103.
- 2.「フッ素とう蝕予防—現代の概念と評価—」p.87 — Ernest Newbun, (株)学建書院、1986
- 3.「一人平均むし歯数」文部科学省学校保健統計調査「フッ化物洗口実施率(公立小学校)」佐賀県健康増進課調べ、2012
- 4.「日本におけるフッ化物製剤(第10版)—フッ化物応用の過去・現在・未来—」P.21 — NPO法人日本むし歯予防フッ素推進会議編、一般社団法人口腔保健協会、2016